

倉吉都市計画マスタープラン（素案）に係るパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施について

倉吉都市計画マスタープラン（素案）について、次のとおり広く一般に意見を募集するため、パブリックコメントを実施しました。

- (1) 募集期間 平成 29 年 12 月 4 日(月) ～ 平成 29 年 12 月 28 日(木)
- (2) 募集方法 市内公共施設への配布、及び公式ウェブサイトにより周知
- (3) 応募件数 1 件（電子メールによるもの 1 件）

2. パブリックコメントの内容と対応方針について

No.	意見	対応方針（案）
1	<p>整備の優先順位について</p> <p>それぞれの計画についての優先順位がはっきりとしない。個人的には北条湯原道路の延伸に工費を使うよりも、観光ビジョンのパブリックコメントでも指摘した《重伝建エリアの無電柱化》を一刻も早く進めて欲しい。倉吉のシンボルでもある白壁土蔵群の無電柱化が実現すれば、観光面での強みにもなり、また移住者に対する倉吉のアピールにも一役買うことになる。</p>	<p>都市計画マスタープランは、具体の事業計画や優先順位を定めるものではなく都市計画に関する基本的な方針を示すものとなっていますので御理解ください。</p> <p>また打吹玉川重要伝統的建造物群保存地区の無電柱化については、御意見のとおり景観向上に有効であることから第 4 章市街地整備方針に記載しております。</p>
2	<p>自動運転社会の到来を踏まえたまちづくり</p> <p>そんなに遠くない未来、自動運転車が公道を走るようになると思われる。それに備えたまちづくりの検討をすべきではないか？狭い市街地の道路を走らせると、乗降・待機の際に道路が詰まることも予想される。現在でも高齢者向けサービスの送迎において、そういった風景を見ることはあるが、自動運転社会はそれが一層拡大されることになる。</p>	<p>自動運転技術は現在試行中のものであり、現実味を帯びていますが、具体的な交通体系にどのような影響するのか、また、法整備が整っていないことなどから、今回の計画では記載しないこととします。</p>
3	<p>大御堂廃寺跡歴史公園について</p> <p>史跡として貴重なものかもしれないが、仮に公園が整備されたとしても、単独で集客が見込めるスポットになるとは思えない。県立美術館予定地と隣接していることから、まずはそちらの計画を進めるべき。大御堂廃寺跡歴史公園はその後で良い。</p>	<p>美術館整備は県の事業であるため、県と連携しながら隣接する大御堂廃寺跡歴史公園の整備を進めていく必要があると考えます。したがって今回の計画では第 4 章公園・緑地の整備方針に国史跡大御堂廃寺跡歴史公園の整備を図り、建設予定の県立美術館との連携した利活用を推進しますと記載していますので御理解ください。</p>